

「英語の語順」のままで考える力がつく！ 『イムラン式 超英語思考トレーニング』3月17日発売

明日香出版社（東京都文京区）は3月17日（金）に、
新刊『イムラン式 超英語思考トレーニング』（著・イムラン・スイディキ）を発売します。



本書の概要

英語を話す・聞く・読む・書くときに日本語訳も思い浮かべていると、なかなか英語は上達しません。

本書は「英語を英語の語順のまま理解する『英語思考』を身につけ、英語の4技能をバランスよく伸ばす」というノウハウを伝えるべく企画されたものです。

日本人が英語学習しやすいように、リーディング→リスニング→ライティング→スピーキングの順で構成したほか、あえて同じ英語例文をくり返し練習することで力がつきやすいように仕上げました。

さらにそれぞれの英語例文の下に、チャンク（意味のかたまり）ごとに色分けした英文も掲載。細かい部分を理解することで、英語思考の土台作りができます。

著者の特徴

※詳細は2ページ目に掲載

- ・コペル英会話教室（東京都港区・渋谷区）校長
- ・上智大院時代から長年に渡って英語教育に携わる。
- ・自身のYouTubeで学習する生徒さんも多く、チャンネル登録者数は16.6人（23年3月6日時点）。レッスンもわかりやすいと定評。

書名

イムラン式
超英語思考トレーニング

著者名 イムラン・スイディキ

ページ数 264

本体価格 1700円

判型 B6 並製

ISBN 978-4-7569-2255-7

もくじ

※詳細は2ページ目に記載

- 序章 ウォーミングアップ
- 第1章 英語思考リーディング
- 第2章 英語思考リスニング
- 第3章 英語思考ライティング
- 第4章 英語思考スピーキング

有限会社明日香出版社

〒112-0005 東京都文京区水道 2-11-5

<https://www.asuka-g.co.jp/>

著者略歴

イムラン・スイディキ (いむらん・すいでいき)

1976年生まれ。コペル英会話教室校長。上智大学大学院時代に様々な英会話スクールで教え、超人気講師になる。卒業後、中央青山監査法人に就職するも英語教育への熱意が冷めず、2003年にコペル英会話教室を創立。mixiコミュニティ「英語英会話一日一言」の登録者は10万人を超え、現在自身のアプリは48万ダウンロード達成。YouTube公式チャンネルも持っており再生回数は1000万回を超える。英語の細かいニュアンスから発音まで、丁寧にユーモアを交えながら解説した配信動画がわかりやすいと大評判になっている。

主な著作に『これを読むまで英語はあきらめないでください!』(大和書房)、『人気バイリンガル講師イムラン先生のネイティブにきちんと伝わる英会話レッスン』(明日香出版社)、『一日一言英会話が続くサーブ&レシーブトレーニング』(KADOKAWA)、『英語は一日一言覚えれば話せます』(クリタ舎)などがある。

もくじ (全項目)

はじめに

序章 ウォーミングアップ
英語が使えるようになる方法
この本の使い方

第1章 英語思考リーディング
英文法は勉強しないでください
リーディング・トレーニングのやり方

- 1 カンタンなやりとり (質問)
- 2 カンタンなやりとり (回答)
- 3 動作系の動詞 (過去形)
- 4 思考系の動詞 (過去形)
- 5 動作系の動詞 (現在形)
- 6 思考系の動詞 (現在形)
- 7 動作系・情報量アップ (過去形)
- 8 思考系・情報量アップ (過去形)
- 9 動作系・情報量アップ (現在形)
- 10 思考系・情報量アップ (現在形)
- 11 be going to
- 12 be not going to
- 13 might
- 14 might not
- 15 have to
- 16 don't have to
- 17 might have to
- 18 might not have to
- 19 be planning to
- 20 be thinking about
- 21 be supposed to
- 22 have+過去分詞
- 23 have never+過去分詞
- 24 have been+動詞 ing
- 25 Imran's Sunday
- 26 Imran VS Chocolate Milk
- 27 Imran's Favorite Food
- 28 Imran's Crush

第2章 英語思考リスニング
英語が聞こえない本当の理由
リスニングができない理由
リスニングができない2つ目の理由
リスニングができない3つ目の理由
リスニング・トレーニングのやり方

第3章 英語思考ライティング
話すためには書けないといけない
ライティング・トレーニングのやり方

- 1 カンタンなやりとり (質問)
- 2 カンタンなやりとり (回答)
- 3 動作系の動詞 (過去形)
- 4 思考系の動詞 (過去形)
- 5 動作系の動詞 (現在形)
- 6 思考系の動詞 (現在形)
- 7 動作系・情報量アップ (過去形)
- 8 思考系・情報量アップ (過去形)
- 9 動作系・情報量アップ (現在形)
- 10 思考系・情報量アップ (現在形)
- 11 be going to
- 12 be not going to
- 13 might
- 14 might not
- 15 have to
- 16 don't have to
- 17 might have to
- 18 might not have to
- 19 be planning to
- 20 be thinking about
- 21 be supposed to
- 22 have+過去分詞
- 23 have never+過去分詞
- 24 have been+動詞 ing
- 25 Imran's Sunday
- 26 Imran VS Chocolate Milk
- 27 Imran's Favorite Food
- 28 Imran's Crush

第4章 英語思考スピーキング
相手とつながるためのスピーキング
スピーキング・トレーニングのやり方

おわりに